

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2023年4月号

CONTENTS

- ◇ 【 マレーシアの現状～アフターコロナの1年を振り返る～ 】 P.2
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 P.5
- ◇ 【 アセアン各国ニューズトピックス 】 P.6
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】 2023年4月～2023年6月 P.7
- ◇ 【 めぶきFGアジアネットワーク 】 P.8

常陽銀行シンガポール
駐在員事務所
10 Collyer Quay #09-
07A
Ocean Financial
Centre,
Singapore 049315
TEL:65-6225-6543

足利銀行バンコク
駐在員事務所
689, Bhiraj Tower
at EmQuartier,
27th Floor, Room
No. 2714, Sukhumvit
Road, Klongton-nue,
Wattana, Bangkok
10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

常陽銀行ハノイ
駐在員事務所
5th Floor, Sun Red
River,
23 Phan Chu Trinh
Street,
Hoan Kiem District,
Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



常陽銀行



足利銀行



めぶきフィナンシャルグループ

マレーシア アフターコロナの1年を振り返る

常陽銀行シンガポール駐在員事務所
東 雅也



～はじめに～

コロナ禍では厳しいロックダウンを行ったマレーシア。進出企業の多くが数月に及ぶ操業停止を余儀なくされるなど、大きな打撃を受けました。同国では2022年4月からエンデミックへの移行期間に入ると発表して以降、だいたいコロナ前の日常を取り戻してきています。そこで今回は、アフターコロナにおけるマレーシアの1年間の動向をレポートします。

マレーシアの現在の状況

コロナ禍でのロックダウン～現在の街の様子

新型コロナウイルスの流行以降、マレーシアでは複数回に渡ってロックダウンが実施されました。特に、2021年6月1日に実施されたロックダウンでは、生活に不可欠な業種を除き、企業は一時操業停止を余儀なくされ、進出企業の多い首都圏では同年9月までロックダウンが続くなど、生産活動に大きな影響を与えました。2021年10月以降は段階的に規制が緩和され、徐々に通常稼働へ戻っています。

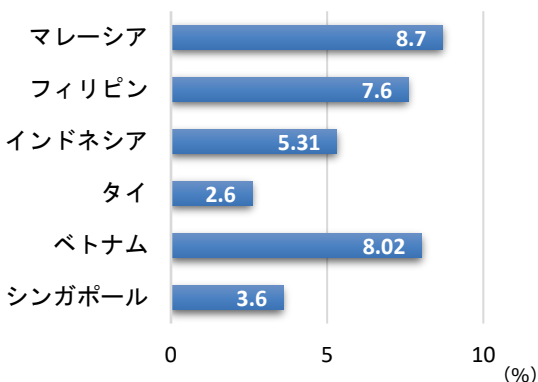
現在の規制は公共交通機関や医療機関等の中でのマスク着用義務のみであり、街中でもマスクを着用している人は少なく感じます。週末には、街は多くの人々で賑わい、活気を取り戻しています。



屋台街の様子（筆者撮影）

GDP成長率は22年ぶりの高水準

ASEAN主要国のGDP成長率



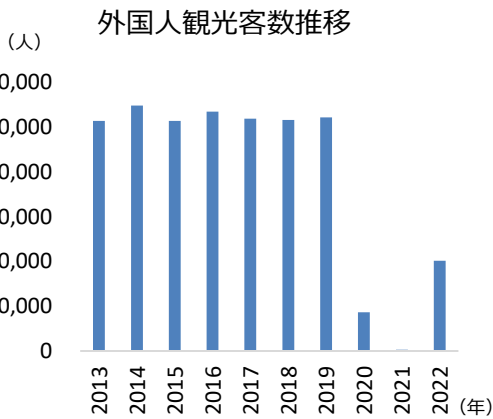
出所：各国の統計局等のデータを基に作成

マレーシアの2022年のGDP成長率は前年比8.7%増を記録しました。同国としては22年ぶりの高水準であり、ASEAN域内で最も高い成長率となりました。新型コロナウイルス関連の規制緩和により回復した個人消費や、主力産業である電子製品を中心に、パーム油製品、石油・ガス輸出などが、経済成長を力強く牽引しました。

マレーシア中央銀行は、2023年のGDP成長率を4.5%と予測しています。世界的な需要減退で輸出は減速するものの、外国人観光客が増加し、国内の消費が旺盛になることで、ある程度輸出の減少分はカバーできるとの見通しです。前年比で伸びは緩やかになるものの、引き続きプラス成長が予想されています。

産業界のトピックス

観光業の回復



出所：Malaysia Tourismのデータを基に作成

マレーシアにおいても観光業は重要な産業のひとつです。コロナ禍前は毎年2,500万人前後の外国人観光客がマレーシアを訪れていましたが、新型コロナウイルスの影響で激減しました。2022年4月からは入国規制が緩和され、外国人観光客も入国できるようになりましたが、2022年の外国人観光客数は約1,000万人に留まっており、2019年以前の水準に戻るにはまだ数年かかると言われています。マレーシア政府は、外国人観光客数の増加を図るため、2023年度予算案で宣伝費用として過去最高額の2億5,000万MYR（約75億円）を計上しました。2023年度は1,610万人の外国人観光客の誘致を目標にしています。さらに2025年を「マレーシア観光年」と定め、様々なキャンペーンやイベントが開催される見込みで、観光業の回復が期待されています。

新車販売台数は過去最高を記録

コロナ禍で冷え込んでいた民間消費の回復、自動車メーカーの生産増などを背景に、2022年のマレーシア国内での新車販売台数は過去最高の720,658台を記録しました。マレーシアでは、国内2大自動車メーカーであるプロトンとプロデュアが人気で、街中で走っている車を見ると大半がこれらのメーカーの車です。実際に販売シェアの6割超をこの2社が占めており、人気の高さがうかがえます。なお、日系メーカーの自動車も人気が高く、3位から5位まで日本のメーカーが続きます。

2023年3月には売上税免税措置（※1）が終了することや、半導体をはじめとした原材料不足など不安定要素もあり、販売台数は減少する見通しですが、2024年以降はそれらも落ち着き、再び増加基調になると予想されています。

（※1）課税物品の輸入および課税事業者である製造業者が国内で製造する課税物品に課される制度。

税率は5%または10%。

2022年マレーシア国内における新車販売台数ランキング

	1位	2位	3位	4位	5位	6位以下	合計
メーカー名	プロデュア	プロトン	トヨタ	ホンダ	三菱自動車	その他	-
販売台数	282,019	136,026	100,041	80,290	24,017	98,265	720,658

出所：Malaysian Automotive Associationのデータを基に作成

最低賃金が25%上昇

	金額(MYR)	円換算
2015年	900	27,000
2016年	1,000	30,000
2017年	1,000	30,000
2018年	1,100	33,000
2019年	1,100	33,000
2020年	1,200	36,000
2021年	1,200	36,000
2022年	1,500	45,000

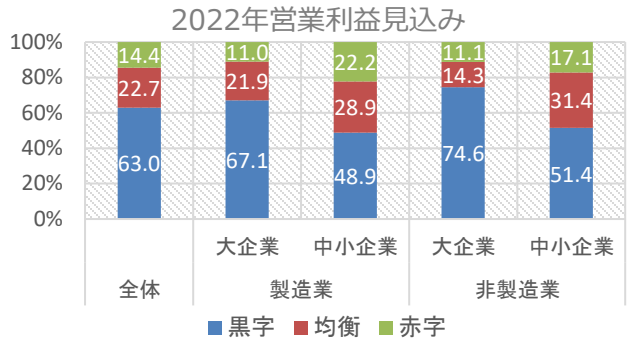
2022年5月1日からマレーシアの最低賃金が改定され、1,200MYR（約36,000円）から1,500MYR（約45,000円）に上昇しました。マレーシアの最低賃金は2年に1回のペースで改定が検討され、100MYRほどの上昇が通例でしたが、今回は一気に300MYRとかつてないほどの上昇率で、産業界からは「少額ずつ段階的に上げるのが妥当ではないか」など、大幅上昇に反対する意見が多く挙がっていました。しかし政府はこうした産業界からの意見を受け入れず、物価の上昇などを理由に最低賃金の上昇に踏み切りました。進出する企業からは、コロナ禍からの回復途上にもかかわらず賃金を大幅に底上げしなくてはならないことなどへの不満の声が多く挙がっています。

日系企業の動向

マレーシアに進出している日系企業の動向

ジェトロが公表している「2022年度海外進出日系企業実態調査」によると、マレーシアに進出する日系企業の6割超が2022年度の業績を黒字見込みと回答しています。コロナ禍では業績が低迷していた企業も多りましたが、今年度は2019年以前の水準まで回復しています。

また、マレーシアでの事業拡大に意欲を示す企業は増加しており、設備投資等を検討する企業が今後増えてくると想定されます。



進出企業が抱える悩み・課題

最低賃金の上昇も含め、近年マレーシアの所得額が上昇しており、人件費の負担が重くなってきている。

中・高電圧契約を対象とした電気料金が上昇しており、多い企業では従来より4割程度、電気料金が上がっているとの声も聞かれる。



マレーシアでは転職しながらステップアップしていくジョブホッピングが一般的であり、従業員の定着率が悪い。

コスト増加分について、経費削減もしくは販売価格に転嫁できるかが今後の課題である。

2022年以降の日系企業の進出状況

近年は特に非製造業の日系企業の進出が目立ちます。2022年1月には三井不動産が手掛けるショッピングモール『ららぽーと』がクアラルンプール中心部に開業したほか、同年には家具大手のニトリや家電量販店大手のノジマなどが進出しています。なかでもニトリは2022年1月の1店舗目の開業からわずか1年で7店舗を展開しており、急ピッチでマレーシアでの多店舗展開を進めています。当初発表によると、マレーシアでは5年間で20店舗まで拡大していく計画で、今後も年間数店舗のペースでの出店が想定されます。

また、当地で約40年前から小売店を展開するイオンも約4年ぶりに新店舗を開店するなど、コロナ禍で一旦停滞していた事業拡大の動きが、徐々に再開しています。近年、国民の所得額も上がってきており、消費需要の旺盛なマレーシアへの進出は今後も続きそうです。



おわりに

今回はマレーシアの現状をお伝えしました。新型コロナウイルス流行により、停滞していた経済活動がこの1年で活発になってきました。最低賃金や電力料金の上昇など、進出する企業にとって悩みの種は尽きませんが、「今後、マレーシアで事業を拡大していく」という前向きな声も多く聞かれます。当事務所では引き続き現地の最新情報を発信していきます。マレーシア進出のご検討の際は、お気軽にご相談ください。

【シンガポール】～政府のコロナ対応について～

シンガポール政府は、コロナ対応の良かった点を8項目、反省すべき点を6項目発表しました。良かった点の一つは、国民への正確な情報を迅速かつ正確に伝えたことです。多民族国家ですので、英語だけでなく、マレー語や中国語でも、ゆっくり、分かりやすく今後の方針を説明してくれました。反省すべき点の一つは、最初からマスク着用を義務化しなかったことです。当初、私がマスクをして電車に乗ると、逆にコロナ感染者扱いされたことを思い出します。良かった点だけではなく、反省点も発表し、次の対策まで考えているシンガポール。ここまで政府に大切にもらっている国民が羨ましいなと感じ、シンガポール国民ではありませんが、もうしばらくこの国に住んでいたいと思いました。

常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順

【良かった点、反省すべき点】



出所：Singapore Government

【首都ヴィエンチャン駅の様子】



(筆者撮影)



【ベトナム】～中国ラオス鉄道～

ベトナムの隣国ラオスの高速鉄道に乗車しました。ラオスは、北が中国、南がタイと接する内陸の国で、この鉄道は中国の一路政策の一環としてタイ、ラオス、中国を繋ぎます。2021年12月に完成し、開通から1年ほど経った今では、ラオス国民の貴重な移動手段として、朝から多くの乗客で混雑していました。今後、ラオスからベトナム中部エリアへの延線も計画されており、ゆくゆくはEUのようにASEAN域内で鉄道網が張り巡らされ、経済、文化の交流がさらに活発になることが期待されています。

常陽銀行ハノイ駐在員事務所 関 一平

【タイ】～トールン（徹夜）市場～

タイにはナイトマーケットがあり、そのほとんどが午後4時から午後11時まで営業し、タイ人の夜遊びスポットとして人気となっています。また、タイにはナイトマーケットよりもさらに長く営業している「トールン（徹夜）市場」があります。

トールン市場はナイトマーケットのように夜に営業しますが、服や商品をお店がなく、ほとんどが料理の屋台です。それぞれの屋台では食事をするための席が用意されており、午前4時頃まで営業しています。トールン市場のターゲットは、夜のシフトで働くタイ人ですが、実際は夜通し遊びに出かけるタイ人の方が多いようです。

トールン市場はタイ国内の至るところにあり、深夜になっても屋台で美味しい料理を食べることができます。もちろん深夜にもコンビニで食事を買うことはできますが、おいしい食事をしたい人はトールン市場に出かけた方がいいと思います。

足利銀行バンコク駐在員事務所
現地スタッフ ピンパーペン・サウィター

【ロッブリー県のトールン市場】



(筆者撮影)

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



- (3/14) シンガポール現地企業の日本でのM & A、円安で活性化
- (3/20) 輸出が5カ月連続マイナス成長中国の経済再開、後押しならず

マレーシア



- (3/21) 2月輸出9.8%増、伸び加速電気・電子や石油製品がけん引
- (3/27) 1月の景気先行指数、3カ月連続マイナス

タイ



- (3/8) 2月のCPI3.79%上昇、13カ月ぶり低水準
- (3/17) 2月の産業景況感96.2、47カ月ぶりの高水準

インドネシア



- (3/17) 政策金利5.75%を維持、金融市場は要注視
- (3/20) 新首都投資、シンガポールの20社以上が関心

フィリピン



- (3/14) 2月新車販売27%増、物価高でも底堅く
- (3/20) 22年の経常赤字178億ドル、過去最悪

ベトナム



- (3/20) 2月新車販売は前年比1%増低調続く、政府は月内に支援策
- (3/28) ニャチャンーカムラム高速道、9月開通予定

〈その他NEWS〉

シンガポール



- (3/6) 空港第5ターミナル、25年までに着工
- (3/21) ロイヤルホスト出店へ、拠点設立

マレーシア



- (3/20) 日本酒をPR、ジェット口とJNTOなど連携
- (3/20) 首都で旅行見本市、日本から20団体が出展

タイ



- (3/3) 中国人旅行者回復に遅れ、航空運賃の高騰で
- (3/14) 北部チェンマイ、空気質指数で世界最悪水準

インドネシア



- (3/7) 電動車への補助金を29万台に20日から開始、国産車が対象
- (3/27) ジャカルターブカシ高速道路、全面開通へ

フィリピン



- (3/17) はしか・風疹感染、1~2月は6倍超
- (3/24) 中銀、0.25%利上げインフレ根強く、ペースは緩和

ベトナム



- (3/3) ベトナムオフィスビルの需要減少続くホーチミン、賃料も下落傾向
- (3/27) 社債発行、3月以降に急増規定緩和や利下げが影響

アセアン・インド休日情報

2023年4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 ID	5	6 TH	7 ID IN PH SG PH	8 PH
9 MM	10 PH MM	11 MM	12 MM	13 TH MM	14 TH CD MM	15 CD MM ID SG
16 CD MM	17 MM	18	19	20	21 IN	22 MY PH IN
23 MY IN	24 MY IN	25	26	27	28	29 JP VN
30 VN						

2023年5月

日	月	火	水	木	金	土
	SG PH IN MY 1 MM TH VN CD	2 VN	3 JP VN MM	4 MY CD	5 JP ID	6
7	8 CD	9	10	11	12	13
14 CD	15	16	17	18 IN	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2023年6月

日	月	火	水	木	金	土
				1 IN	2 SG	3 TH
4 IN	5 MY TH	6	7	8	9	10
11	12 PH	13	14	15	16	17
18 CD	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28 PH	29 SG MY IN ID	30	

※ナショナルホリデーのみ掲載
※祝祭日名省略

出典: ジェトロ各国情報等

JP 日本	MY マレーシア	TH タイ
SG シンガポール	PH フィリピン	VN ベトナム
IN インドネシア	MM ミャンマー	ID インド
CD カンボジア		

めぶき F G アジアネットワーク (1)

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行 (中国)	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行 (中国)	●		
中国信託商業銀行 (台湾)	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行 (タイ)	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行 (タイ)	●		
バンクネガラインドネシア (インドネシア)	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行 (インドネシア)		●	
ヴィエティンバンク (ベトナム)	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行 (ベトナム)	●	●	
ベトナム外国投資庁 (ベトナム)	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク (フィリピン)	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 (フィリピン)		●	
インドステイト銀行 (インド)	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス (メキシコ)	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか (メキシコ)	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構 (JETRO)	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構 (JICA)	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行 (JBIC)	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険 (NEXI)	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

めぶき F G アジアネットワーク (2)

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, #09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraaj Tower at EmQuartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-2852

